

支店別議案説明会質疑応答

9月7日から10日まで、8会場（各基幹支店と葛川支店）で支店別議案説明会が開かれました。組合員の皆さまから寄せられた貴重なご意見・ご質問の一部をご紹介します。また、総代の皆様から寄せられましたご質問も併せてご紹介します。



黒石基幹支店

Q. 黒石支店に3支店を統合して1支店体制にするところがあるが、黒石・六郷地区と山形・浅瀬石地区での2支店に再編できないものか。また、山形給油所の存続について嘆願書を提出したが聞き入れてもらえなかった。農協を利用するに当たり大変不便になる。経費は掛かるが組合員の利便性がよくなるようお願いしたい。

A. 農協法改正により公認会計士監査の基準を受けて内部統制を整備すると職員を存分に配置する必要があり。その結果として利用率が悪いと赤字店舗として減損処理が必要となりますので、それらを考えると黒石は1支店体制とならざるを得ないことをご理解願います。

Q. 黒石地区組合員の利便性を考慮し支店を維持してもらえないか。利便性もつと良いところとしてパイパス沿いに土地取得するとか、閉鎖した小学校の再利用等は考えられないか。

A. 土地取得等、経費が高むことは考えていない。施設を一つの場所に集約して利便性を高めていきたい。

Q. 不祥事防止、コンプラ遵守に向け

て、職員に対して具体的にどのような取り組みをしているのか。

A. 毎月1回、不祥事再発防止委員会を開催して再発防止策の取り組み状況を報告し協議しております。さらに常勤役員が全施設を分担して巡回し、不祥事未然防止、コンプライアンス遵守の訓示をしております。また、毎週常勤・部長会議や管理職会議の中でも訓示や発生状況を確認しております。

Q. 総代数は削減されたが、役員数は削減されないのか。

A. 今後、理事会等で検討していくこととなります。

平賀基幹支店

Q. 事業再編計画の購買事業について、竹館支店と新屋支店は平賀グリーンセンターへは距離的に変わらないものと思う。新屋支店だけが平賀グリーンセンター及び平賀給油所に近いというだけで廃止という事になれば組合員離れが心配されるのではないのか。

A. 竹館支店と新屋支店は施設が古く古い事から建て直しや移転等いろいろなことを考えた結果、購買事業の取扱高等を考慮し新屋支店を廃止することにしました。

Q. J A津軽みらいの進めている自己改革「農業者の所得増大」「地域活性化への貢献」「組織・経営力発揮」の3点について具体的に各担当者から伺いたい。

A. 自己改革の「農業者の所得増大」で

は労働不足に対する取り組みとして、外国人技能実習生の受入れや温湯種子消毒の作業受託を行っております。その他総代会資料に掲載しているとおり各担当部署を中心に連携しながら進めている状況となっております。

葛川支店

Q. 葛川支店統廃合後も購買品の配達には、今まで通り電話注文等で対応してもらえないのか。

A. 葛川グリーンセンターの職員数は給油所も含めて4人は必要と考えています。今まで通り配達も対応いたします。

Q. 葛川給油所について土曜日午後の営業が無くなったが、経費削減のためなのか。

A. 土曜日午後の給油所営業は職員の時間外勤務で対応していましたが、働き方改革の取り組みのため変更いたしました。

Q. 移動店舗車は、廃止される全支店を巡回対応するのか。

A. 廃止店舗を含めて、定期的に巡回する計画となっております。

Q. 支店統廃合の補完措置として、「移動店舗車」による巡回サービスとありますが、1台当たりの価格も含めもう少し詳しく教えて頂きたい。

A. 1台約3千万円です。現在この1台で9ヶ所をそれぞれ曜日・時間を決めて巡回しております。今後調整を取りながら廃止となる支店にも巡回したいと考えております。